

KEIKYU BUSINESS REPORT

第95期 2015年4月1日～2016年3月31日

京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

CONTENTS

- P.2 トップメッセージ
- P.4 総合経営計画
- P.6 中期経営計画
- P.8 トピックス
- P.12 連結決算ハイライト
- P.13 セグメント情報
- P.14 株主プレミアムイベント
- P.15 会社の概要



トップメッセージ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第95期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けいたします。

京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田 一之

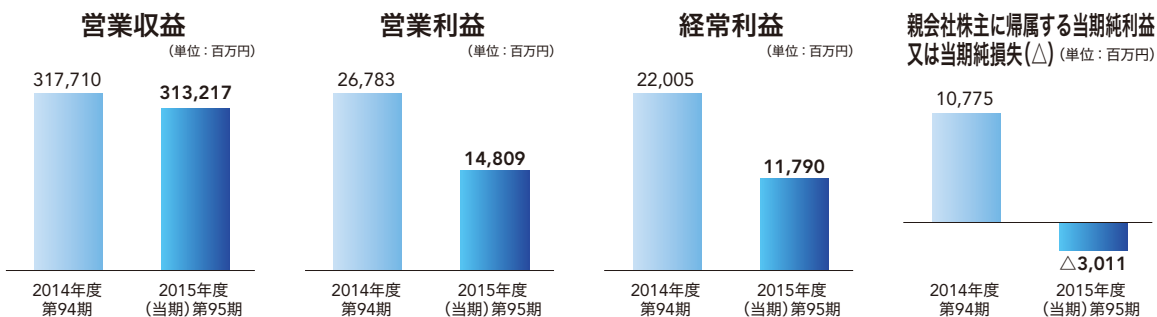


第95期の決算の概況について

当期の営業収益は、交通事業および流通事業などが好調に推移したものの、不動産事業において前期に大規模分譲マンションの売り上げを計上した反動により、3,132億1千7百万円(前期比1.4%減)、営業利益は、不動産事業において多額のたな卸資産評価損を売上原価に計上したことなどにより、148億9百万円(前期比44.7%減)、経常利益は117億9千万円(前期比46.4%減)となりました。これに、特別損失として減損損失を計上したこと

などにより、親会社株主に帰属する当期純損失は30億1千1百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益107億7千5百万円)となりました。

なお、当社は2016年5月に、ホテル グランパシフィック LE DAIBAの土地および建物ならびに(株)ホテルグランパシフィックの全株式を譲渡し、特別利益として固定資産売却益等を翌期の第96期に計上いたします。



京急グループ総合経営計画の策定について

当社グループは、今般、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すため、一大プロジェクトとなる品川駅周辺開発を見据えた、20年間にわたる「京急グループ総合経営計画」を策定しました。詳細は、4ページから5ページをご参照

ください。

本計画の策定にあたり、当社グループの20年後の長期ビジョンの実現に向けて、事業の選択と集中を進めるため、以下の決断を行いました。

事業の選択と集中について

■ 神奈川県三浦市における総合開発事業の凍結

「京急グループ総合経営計画」の策定にあたり、新規収益投資について峻別を行いました。その結果、神奈川県三浦市において計画していた鉄道延伸事業および延伸区間における大規模宅地開発

事業の凍結を2016年3月に決定し、2015年度決算は創業以来の赤字となりました。

今後は、自然豊かな環境を活かした都市近郊リゾートエリアの創生を目指してまいります。

■ ホテルグランパシフィックの売却

2016年5月に、東京都港区にあるホテル グランパシフィック LE DAIBAの土地および建物ならびに(株)ホテルグランパシフィックの全株式を譲渡いたしました。

これは、大規模投資を予定している品川駅周辺開発に向けた準備の一環として、不動産市場の動向

などを総合的に勘案し、判断したものであります。

今後は、品川・羽田空港エリアをはじめとする沿線の開発や賃貸事業など成長分野への投資を拡充するとともに、品川駅周辺開発に向け、準備を進めてまいります。

■ 横浜への本社移転

2016年4月に都市計画決定された「品川駅周辺地区 地区計画」の事業着手を計画どおりに進めるため、2019年度に当該地区にある本社を横浜へ移転することを決定しました。

本社を沿線の中央部に移転することにより、品川や羽田空港のポテンシャルを沿線に波及させる司令塔としての機能を強化いたします。

京急グループ総合経営計画について

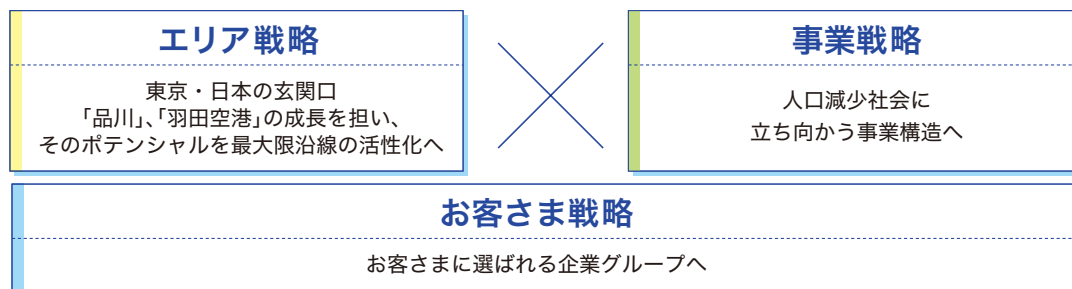
当社グループを取り巻く事業環境は、沿線の人口減少や各事業での競争激化など、厳しくなることが予想されます。その一方で、品川・羽田という沿線の牽引役となりうるエリアを抱えていること、東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う好景気が見込まれることなどをチャンスと捉え、2016年度から始まる新たな経営計画を策定しました。

品川・羽田をはじめとする事業機会を十分に活かして沿線全域を活性化し、人口減少社会に立ち向かう事業構造へと変革を図ることで、長期ビジョンの実現を目指します。

長期ビジョン【2035年度に目指す将来像】

**品川・羽田を玄関口として、
国内外の多くの人々が集う、豊かな沿線を実現する**

長期経営戦略



2016 2021 2026 2035

中期経営計画期間

長期経営戦略期間

構造変革期

長期ビジョン実現に向けた土台づくりを進める期間

- ・品川駅周辺開発期間に備えた収益拡大策の実行
- ・事業の選択と集中の継続・強化
- ・財務体質の改善

成長準備期

品川駅周辺開発事業の本格化および羽田空港アクセスの競争に対応する期間

- ・大規模投資の実行
- ・交通事業の収支構造の改善
- ・各エリア事業の利益増加

長期ビジョン完遂期

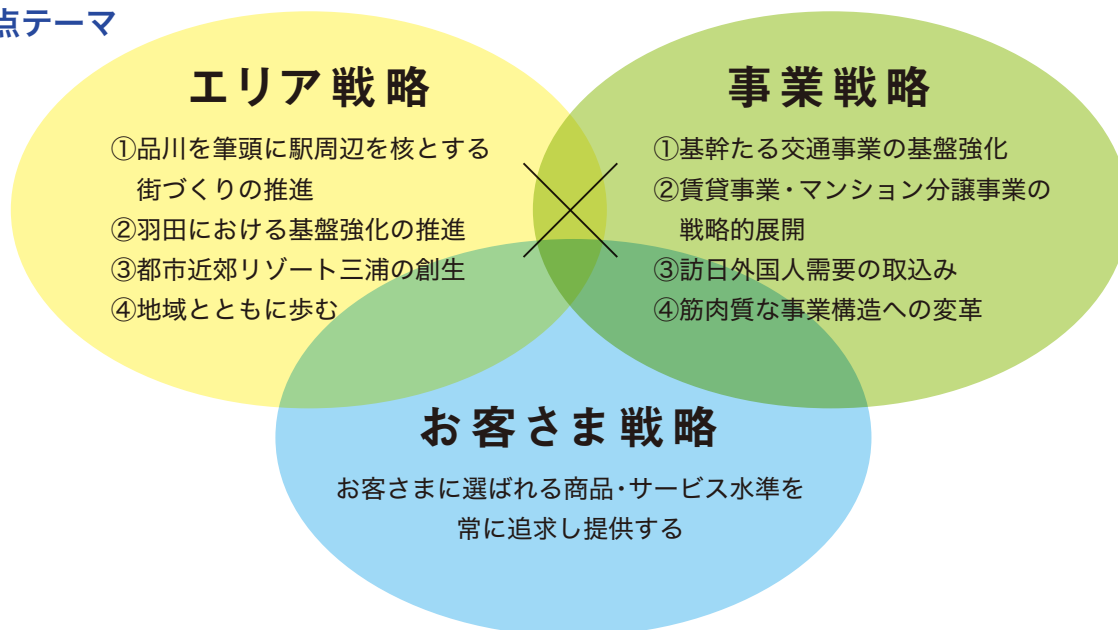
長期ビジョンを完遂する期間

- ・品川駅周辺開発事業の順次完成
- ・品川エリアと各エリア事業の連携推進
- ・長期ビジョンが実現し、飛躍的成長を遂げる

中期経営計画(2016～2020年度)

中期経営計画期間は、「構造変革期」として位置付け、東京オリンピック・パラリンピックに向けた好景気を背景に、企業体質の変革に向け、事業再編やお客さま志向の徹底に取り組むとともに、各エリア事業の取り組みを強化し、長期ビジョンの実現に向けた土台づくりを進めます。

重点テーマ



目標指標

品川駅周辺開発の本格化を前に、キャッシュ創出力の向上と、大規模投資に備えた財務体質の改善を重視し、以下の4指標を目標指標としました。

営業利益
330億円

EBITDA
680億円

純有利子負債
4,200億円

純有利子負債
／EBITDA
6.2倍

①品川を筆頭に 駅周辺を核とする街づくりの推進

●品川駅周辺開発事業の検討・推進

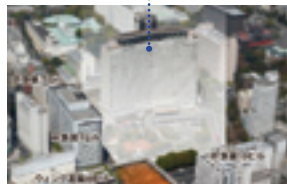
品川駅周辺の発展を担う事業者として、国際交流拠点化に向けた開発事業を推進します。

品川駅街区地区は、土地区画整理の手法を活用し、2019年度の着手を目指します。

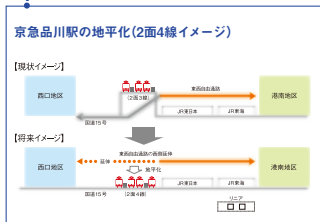
西口地区は、高度利用を図り、大規模複合施設の開発検討を進めます。



「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014」から当社作成（※赤枠が当社グループの取り組み）



- 東西自由通路の西側延伸
- 大規模な複合施設の開発



②羽田における基盤強化の推進

- 羽田空港アクセスの利便性向上
- 羽田空港関連事業の拡充



鉄道・バスの利便性向上を追求し、羽田空港アクセスにおいて確固たる地位を確立します。

また、羽田空港周辺エリアで、ホテル、商業施設、賃貸物件等への積極的な投資を推進します。

●京急EXインの展開



品川～羽田空港エリアや都心への新規出店を継続します。
また、羽田空港を起点とした国内主要都市およびアジアへの進出を検討し、規模および利益のさらなる拡大を図ります。

現在 9館 2,080室
2020年度 3,000室体制へ

③都市近郊リゾート三浦の創生

●観光の活性化による交流人口の増加

観光拠点を整備し、回遊性向上を図るとともに、地元自治体と協力した認知度向上への取り組みを推進します。

また、シニア需要を取り込み、三浦版CRCR構想を推進します。



「みさきまぐろきっぷ」を代表とする企画きっぷ、イベント列車等の運行



「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」二つ星の紹介を契機とする訪日外国人向け宣伝の強化

④地域とともに歩む

●沿線の魅力を向上させる事業の検討・推進



地元・行政および観光事業者・開発事業者等との連携可能性も追求し、各地域の特性を活かした街づくりや事業展開を行います。



2016年4月に開業したウィング川崎・京急EXイン 京急川崎駅前

①基幹たる交通事業の基盤強化

●満足度の高い輸送サービスの提供

輸送サービスの高付加価値化などにより快適な移動を実現し、新たな旅客獲得を目指します。

- ・都心方面との接続性を向上させるダイヤの検討
- ・着席保証列車等の増強検討
- ・沿線の魅力を伝えるイベント列車の運行
- ・地域密着型バスの整備による地域交通網の拡充



安全・安定輸送を継続するとともに、事業構造の変革により安定的な利益確保に努めます。

- ・ホームドアの整備検討
- ・耐震補強等安全対策工事の推進

③訪日外国人需要の取込み

●インバウンド施策の強化



羽田空港国際線・国内線ターミナル駅を、京急グループの「おもてなし」を発信する拠点とします。

- ・京急ツーリストインフォメーションセンター(京急TIC)を中心とした羽田空港国際線ターミナル駅の機能強化
- ・手ぶら観光の推進、民泊対応の検討
- ・免税対応の強化

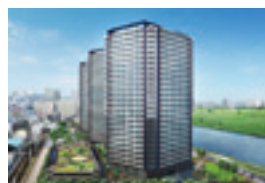
インバウンド旅客を沿線や当社グループ施設に誘客するための施策・設備を充実させます。

- ・エアラインとの提携強化
- ・海外の鉄道事業者との連携強化
- ・深夜早朝便利用旅客の囲い込み
- ・自治体と共同した海外プロモーションの実施



②賃貸事業・マンション分譲事業の戦略的展開

●不動産事業の収益力強化



沿線および都心部を中心に、賃貸事業・マンション分譲事業を展開し、交通事業に並ぶ柱へと成長させます。

- ・賃貸オフィスの取得・開発
- ・賃貸マンション事業の強化
- ・分譲マンションの安定供給



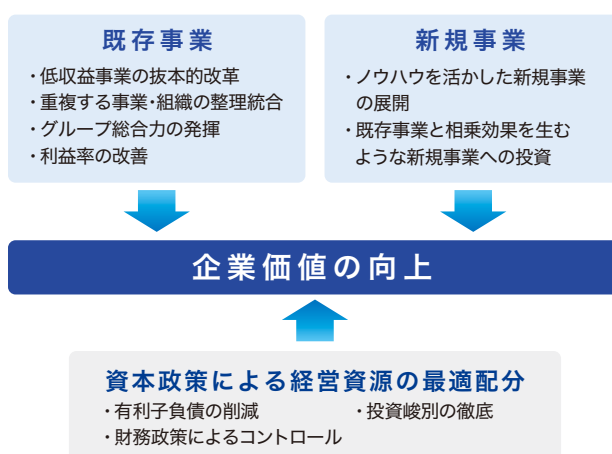
管理、リノベーション、リフォーム等既存ストックを活用した事業の強化を図ります。

- ・ワンストップサービスの提供による住関連需要の取込み強化
- ・窓口機能である「京急すまいるステーション」の展開拡大
- ・既存住宅の流通促進や賃貸化などによる空き家対策、戸建て住宅地の好循環化、コミュニティの活性化



④筋肉質な事業構造への変革

●事業の選択と集中の継続・強化





モーニング・ウィング号運行開始



座ってくつろぎ、ゆったり通勤。

2015年12月から運行を開始した「モーニング・ウィング号」は、平日朝の通勤時間帯に三浦・横須賀方面から“確実に座ることができる”当社初の上り着席保証列車です。三浦海岸・横須賀中央・金沢文庫・上大岡駅を乗車駅とし、品川駅までノンストップで運行しています。運行開始以降、利用者数は好調に推移しており、今後も利便性を高め、沿線の定住人口の増加を図っていきます。

乗るほどお得なキャンペーンを実施

「ウィング号」に乗ってお得に帰ろう!!

平日の夕方に運行している下り「ウィング号」において、乗れば乗るほどお得なキャンペーンを2015年12月から開始しました。これは、下り「ウィング号」の使用済みの「Wing Ticket」を無料着席カードと交換することができるサービスです。

これからも、より快適に当社線をご利用いただけるよう、サービスの向上に努めていきます。





台鉄×京急 友好鉄道協定締結1周年

台鉄で京急の赤いラッピング列車が運行!

2016年2月から6月まで、中華民国交通部台湾鉄路管理局(台鉄)との友好協定締結1周年を記念して、台鉄列車のデザインを施したラッピング列車を運行していました。また、2016年5月からは、台鉄でも、当社線の赤い車体をイメージしたラッピング列車が運行を開始し、台湾のお客様に当社線のPRを行っています。

これからも、各種取り組みを通じて、日台間の交流人口の拡大を目指していきます。



台北駅の京急PRブース



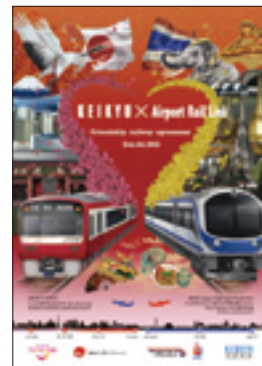
台鉄で運行中の京急ラッピング列車

タイ・SRTETとの友好協定締結

海外の鉄道事業者との連携を強化

2015年12月に、タイ・スワンナプーム国際空港とバンコク市内を結ぶ空港鉄道(エアポート・レール・リンク)を運営するSRTETと友好協定を締結しました。これはスワンナプーム国際空港と羽田空港の空港アクセスを担う両社の利用者拡大を目的としたものです。また、2016年5月からは、当社線の認知度向上および利用促進を目的に、エアポート・レール・リンクご利用者を対象としたプレゼントキャンペーンを実施しております。

引き続き、当社グループ全体で訪日タイ人へのおもてなしを強化していきます。



友好協定締結のメインビジュアル

羽田空港へ就航しているLCCでの機内販売

香港エクスプレス・Peachの機内で
「京急羽得2枚きっぷ」と
「天然温泉 平和島 深夜パック」を販売

2015年10月から、羽田空港に就航しているLCC(格安航空会社)香港エクスプレスの機内において、羽田空港から都心方面へご利用いただける「京急羽得2枚きっぷ」と、羽田空港からの送迎バスと「天然温泉 平和島」利用券がセットになった「天然温泉 平和島 深夜パック」の販売を開始しました。また、2016年1月からは、同じく羽田空港に就航しているPeachの機内においても販売を開始しました。販売開始以降、多くの方々にご購入いただいております。

今後も増加し続ける訪日外国人のお客様に対して、当社線やグループ施設の利用促進を図っていきます。



提供: 香港エクスプレス



提供: Peach Aviation株式会社



香港エクスプレスの機内販売誌



「ウィング」は、駅直結で利便性が高いショッピングセンターとして、沿線を中心に展開しています。

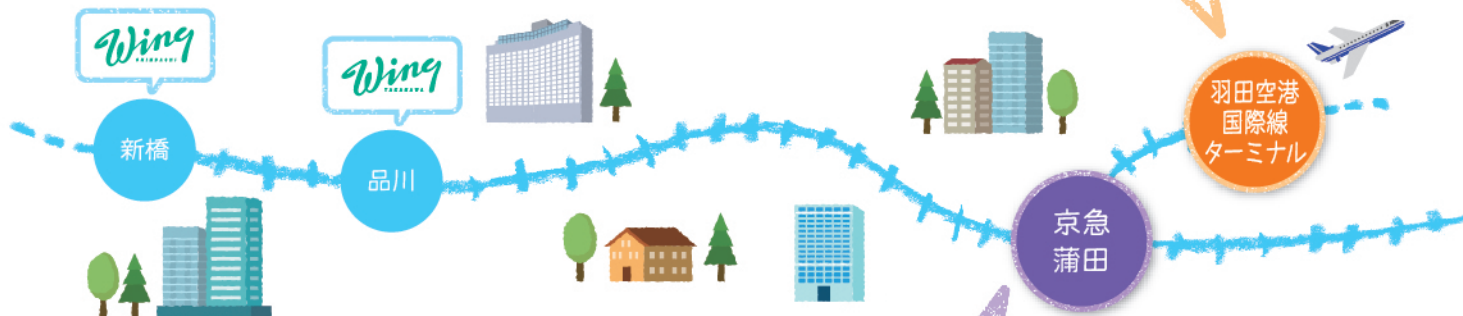


ウィングエアポート羽田

「ウィングエアポート」は、“空港をもっと便利に、スマートに”をコンセプトに、空港利用者に
対して、利便性の高いサービスを提供している空港内・空港近接の商業施設ブランドです。

2015年10月にリニューアルオープンした「ウィングエアポート羽田」では、免税サービス
に強みを持つ「ラオックス」や「マツモトキヨシ」を誘致し、既存店舗の「セブン-イレブン」と
合わせ、免税ゾーンを形成しました。その結果、売上高はリニューアル前の実績から倍増す
るなど、訪日外国人の需要をとらえて好調に推移しています。

また、2016年4月にはラーメンフードコート「品達 羽田」を開業するなど、空港利用者の
さらなる取込みを図りました。今後も、訪日外国人のみならず、空港利用者の需要を取り込
み、収益の拡大を図っていきます。



ウィングキッチン京急蒲田

「ウィングキッチン」は、“地域に溶け込むコミュニティプレイス”をコンセプトに、食物販を中心と
したライフスタイルに密着したショップを揃えた、新たなコミュニティ型商業施設ブランドです。

その第一弾として、2015年12月に、京急蒲田駅の高架下を活用し、「ウィングキッチン京急蒲田」
を開業しました。食物販だけでなく、クイックサービス型の店舗を誘致するなど、駅直結ならではの
利便性を追求しており、多くのお客様にご利用いただいています。

今後も、ライフスタイルにあわせた店舗展開をしていくことにより、サービスの拡充を図ってい
きます。





ウィングキッチン京急鶴見

～2017年オープン予定～

2017年夏に、京急鶴見駅高架下を活用し、「ウィングキッチン」ブランドの第2号店となる「ウィングキッチン京急鶴見」の開業を予定しています。

京急鶴見駅周辺は地域の交通や行政の重要拠点となっていることから、近年人口が増加しているエリアです。このような地域特性やニーズに合ったテナントの誘致およびサービスの提供を行い、街の発展に貢献していきます。



ウィングキッチン京急鶴見イメージパース



ウィング川崎

2016年4月に、京急川崎駅直結の商業施設と宿泊施設を一体化させた駅ビルに「ウィング川崎」を開業しました。

「ウィング川崎」は、「毎日のお気に入りプレイス～駅で楽しむ・駅から始まる・素敵な毎日～」をコンセプトに、食物販・飲食を中心とした店舗構成とし、駅を利用される幅広い年齢層のお客様が親しめるサービスを展開しています。

今後も、近隣にお住まいの方や、訪日外国人など、多様なお客様のニーズに対応できるようサービスの向上に努めていきます。



京急川崎駅直結の複合ビル

● 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末	前期末
資産合計	1,022,518	1,069,923
負債合計	800,796	817,578
純資産合計	221,721	252,344

●資産の部

退職給付に係る資産および分譲土地建物の減少などにより、1兆225億円（前期末比474億円減）となりました。

●負債の部

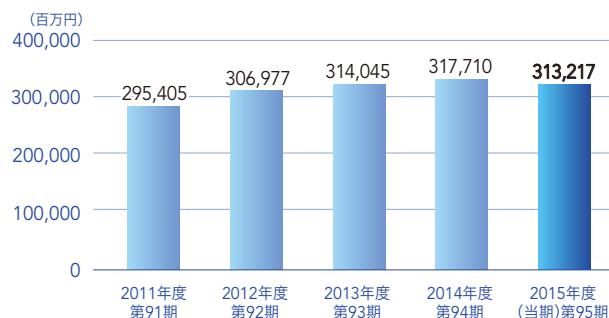
長期前受工事負担金や支払手形及び買掛金の増加はありましたが、借入金や社債など有利子負債の減少や繰延税金負債の減少などにより、8,007億円（前期末比167億円減）となりました。

●純資産の部

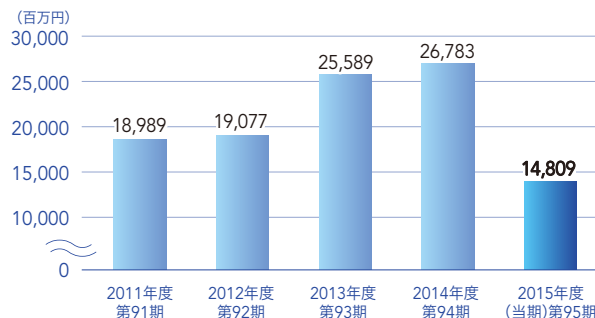
退職給付に係る調整累計額等の減少のほか、親会社株主に帰属する当期純損失の計上などにより、2,217億円（前期末比306億円減）となりました。

● 業績等の推移

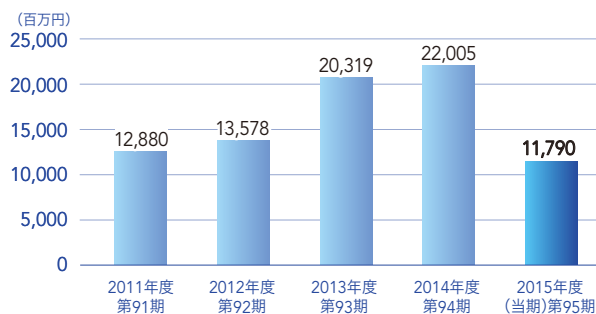
営業収益



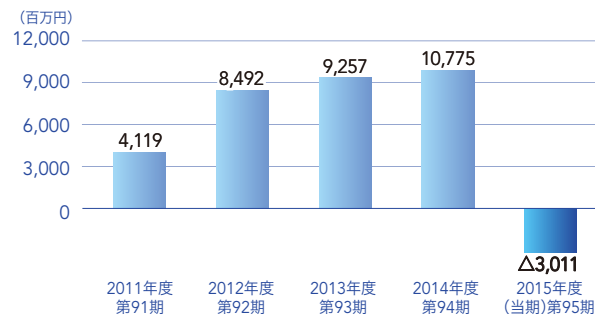
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益 又は当期純損失 (△)

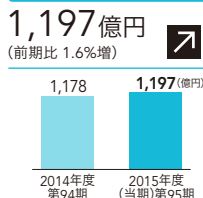


セグメント情報

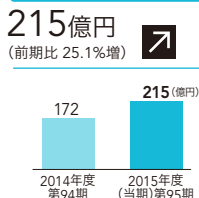
交通事業



営業収益



営業利益



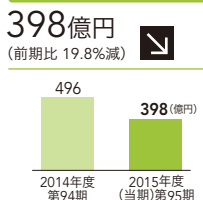
●鉄道事業では、訪日外国人の増加などにより、羽田空港輸送が増加しました。また、朝の通勤時間帯における着席保証列車「モーニング・ウィング号」の運行を開始するなど、利便性の向上を図りました。さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、高架橋耐震補強工事等を進めました。

●乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス㈱は、2015年3月の都市高速道路中央環状品川線の開通を機に、羽田空港アクセス路線で運行経路の変更およびダイヤ改正を実施するなど、利便性の向上に努めました。また、深夜早朝アクセスバスの路線延長および増便を実施するなど、鉄道が運行していない時間帯の羽田空港アクセスの向上に努めました。

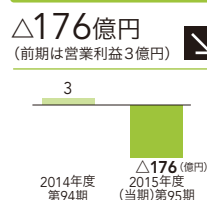
不動産事業



営業収益



営業利益又は営業損失



●不動産販売業では、分譲マンション「ザ・タワー横須賀中央」、「オーベルグランディオ横浜鶴見」、「プライム横浜屏風浦」および港町駅前の「リヴァリエB棟」などの売り上げを計上したほか、「リヴァリエC棟」を販売しました。

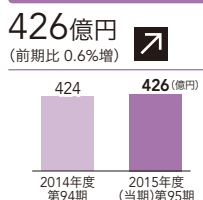
●不動産賃貸業では、品川駅周辺に立地するオフィスビルなどで、高稼働率の維持に努めました。また、京急開発㈱では、「平和島物流センタ」が好調に推移しました。

●前期に大規模分譲マンションの売り上げを計上した反動減や大規模宅地開発事業の凍結決定に伴い、多額のたな卸資産評価損を売上原価に計上したことなどにより、減収減益となりました。

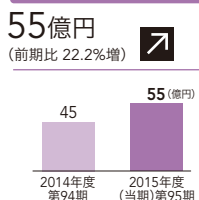
レジャー・サービス事業



営業収益



営業利益



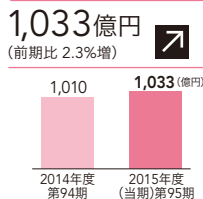
●ホテル業では、ホテル グランバシフィック LE DAIBA は、旺盛な訪日外国人および国内需要を取り込み好調に稼働し、客室単価も上昇しました。また、京急E×インは、「京急E×イン 品川駅前」をはじめ各館が高稼働率を維持し、客室単価も上昇しました。さらに、羽田空港利用客等の需要を取り込むため、訪日外国人にも人気のある秋葉原に「京急E×イン 秋葉原」を開業しました。

●レジャー施設業では、京急開発㈱は、「天然温泉 平和島」で、海外の航空会社と共同でキャンペーンを実施するなど、訪日外国人の獲得に努めました。

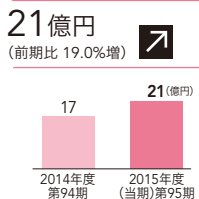
流通事業



営業収益



営業利益



●百貨店業では、㈱京急百貨店は、2016年10月の開業20周年に向け、ライフスタイルにあわせた品揃えの強化を図るため、婦人服売場および子ども服売場をリニューアルしました。また、訪日外国人を取り込むため、免税サービスを導入しました。

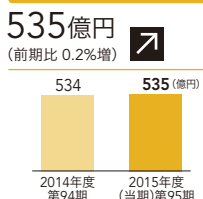
●ストア業では、㈱京急ストアは、リニューアルオープンした「ウィング高輪 E A S T」が順調に推移しました。

●物品販売業では、㈱京急ステーションコマースは、㈱セブンイレブン・ジャパンと業務提携した店舗の駅構内や駅前への出店を拡大し、新たに4店舗を開業しました。また、開業5周年を迎えた羽田空港国際線ターミナル駅構内に開業した「ウィングエアポート羽田」では、免税サービス対象店舗などが順調に推移しました。

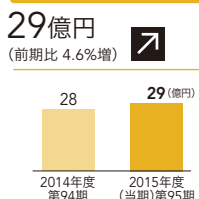
その他



営業収益



営業利益



●当社は、住まいに関する様々なニーズに対応するため、子会社のマンション管理事業およびリフォーム事業を統合し、㈱京急リブコを設立しました。

●京急建設㈱および京急電機㈱は、引き続き鉄道の安全対策工事等を行いました。

株主プレミアムイベント

京急油壺マリンパーク

三浦半島の生き物観察と水族館の裏側ツアー



◆開催日時

2016年8月4日(木)
14時～16時

◆募集人員

15組30名様

◆応募締切

2016年7月15日(金)消印有効

◆当選者へのご案内

2016年7月21日(木)発送予定

京浜急行バス

営業所および整備工場見学ツアー



◆開催日時

2016年9月2日(金)
14時～16時

◆募集人員

15組30名様

◆応募締切

2016年8月12日(金)消印有効

◆当選者へのご案内

2016年8月19日(金)発送予定

イベント参加申し込み方法

応募資格 2016年3月31日現在 株主の方

応募方法 はがき・ウェブ

はがきで応募される方

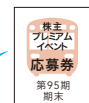
本誌裏表紙の応募券を貼り、
以下の事項をすべてご記入のうえご応募ください。

1. 参加希望コース名
2. 株主様の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、株主番号
3. 同伴者の氏名、年齢、株主様とのご関係
4. (同伴者が同居以外の場合のみ)
同伴者の郵便番号、住所、電話番号

【はがき】

上記1～4を
必ずご記入

【応募券】



本誌裏表紙に
あります

【送付先】

〒108-8625
京急電鉄
株主プレミアム
イベント事務局

ウェブで応募される方

1. 「京急電鉄IR」でウェブ検索します。[京急電鉄IR](#) [検索](#)
2. 京急電鉄ウェブサイトの「IR情報」にアクセスします。
3. 応募ページに進んでいただき、ログインパスワード
「9006」を入力してご応募ください。

ご注意

- ・お申し込みは、お一人様につき一回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・いずれのコースも現地集合・現地解散となります。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただきます。
- ・諸般の事情から内容を変更または中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。なお、当選者の発表は当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。

会社情報

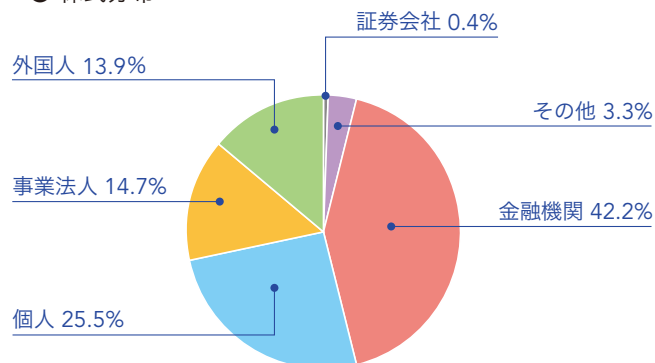
● 商号	京浜急行電鉄株式会社 (証券コード 9006) Keikyu Corporation
● 本社所在地	〒108-8625 東京都港区高輪2丁目20番20号
● 設立	1898年2月25日 (前身の大師電気鉄道の設立) 1948年6月1日 (京浜急行電鉄の設立)
● グループ会社	63社 (当社を含む)
● 従業員数	9,035名 (うち当社1,781名)

役員 (2016年6月29日現在)

取締役会長 (代表取締役)	石 渡 恒 夫
取締役社長 (代表取締役)	原 田 一 之
取締役副社長	小 倉 俊 幸
専務取締役	田 中 伸 介
常務取締役	道 平 隆
常務取締役	廣 川 雄一郎
常務取締役	本 多 利 明
取締役	武 田 嘉 和
取締役	佐々木 謙 二
取締役	友 永 道 子
取締役	平 位 武
取締役	上 野 賢 了
取締役	大 賀 祥 介
取締役	浦 辺 和 夫
取締役	渡 辺 静 義
取締役	川 俣 幸 宏
常勤監査役	猿 田 明 里
常勤監査役	國 生 伸 隆
監査役	末 綱 隆 修
監査役	須 藤

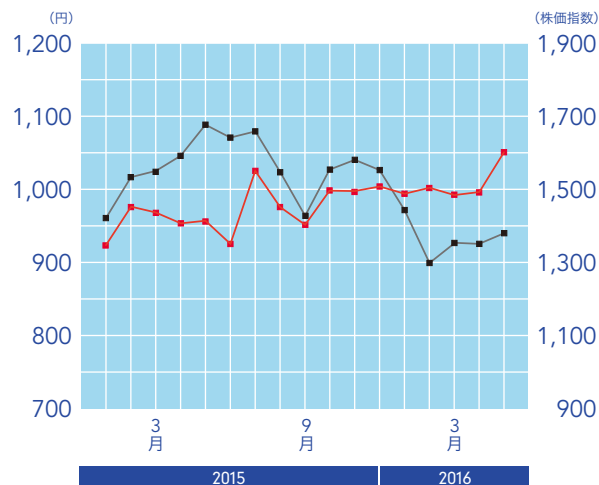
株式の情報

- 資本金 43,738,735,119円
- 株式数 551,521,094株 ※自己株式を含む
- 株主数 23,927名
- 株式分布



● 株価 (月終値) の推移

■ 当社株価：左メモリ ■ TOPIX (東証株価指数)：右メモリ



株主優待のご案内(年2回)

グループ施設株主優待券のほか、株式数に応じて優待乗車証等が選択できる株主優待制度を設けています。

● 1,000株以上ご所有のすべての株主様

■ 京急グループ施設株主優待割引券

〈主な割引施設〉
京急グループのホテル、京急百貨店、京急ストア、葉山マリーナ、
羽田空港駅構内対象店舗ほか



● 3,000株以上 30,000株未満ご所有の株主様

■ 5,000株以上ご所有の場合、電車・バス全線きっぷもしくは京急EXイン宿泊券の **いずれか1つ選択**

ご所有株式数	電車・バス 全線きっぷ	京急EXイン 無料宿泊券(シングル)
3,000～ 5,000株未満	6枚	—
5,000～10,000株未満	15枚	1枚
10,000～20,000株未満	30枚	2枚
20,000～30,000株未満	60枚	4枚

● 30,000株以上ご所有の株主様

■ **いずれか1つ選択** + 電車・バス全線きっぷ15枚 さらに3年以上継続の場合 + 電車・バス全線きっぷ15枚

ご所有株式数	電車全線パス	バス全線パス	電車・バス 全線きっぷ	京急EXイン 無料宿泊券(シングル)
30,000～45,000株未満	1枚	—	90枚	6枚
45,000～60,000株未満	1枚	1枚	135枚	6枚
60,000株以上	電車・バス共通全線パス 1枚		180枚	6枚

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および当社グループ(京浜急行バスグループ、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。
※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

株主
プレミアム
イベント

応募券

第95期
期末

■ 単元未満株式の買取・買増制度、
特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
〈営業時間〉平日 9:00～17:00
☎ 0120-782-031

■ 当社株主優待等に関するお問い合わせは

京急ご案内センター
〈営業時間〉平日 7:30～21:00
土・日・祝日 9:00～17:00
※営業時間は変更となる場合がございます。



03-5789-8686
または **045-441-0999**